

専門学校東京 CPA 会計学院熊本校 学校関係者評価報告書

令和 6 年度

実施日 令和 7 年 6 月 9 日

※令和 6 年度学校自己評価（基準日：令和 6 年 5 月 1 日）をもとに評価実施

令和6年度 学校関係者評価報告書について

学校法人高橋学園専門学校東京 CPA 会計学院熊本校は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るため学校自己評価を実施しています。この度、令和元年度より、教育・学校運営に反映すべく、学校自己評価とともに、学校関係者評価を実施しております。

本校に関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、卒業生・会計関連業界団体の皆様や会計・教育等に見識をお持ちの方々に令和6年度学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより信頼され開かれる学校を目指すべく、教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和7年5月

学校法人高橋学園

専門学校東京 CPA 会計学院熊本校

校長・学校評価委員会委員長

高橋 淳二

学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

【評価委員】

学校教育法並びに学校教育法施行規則の規定とともに、文部科学省、熊本県ほか関係行政機関の指導・ガイドラインをふまえ、卒業生3名の方々に評価委員をお願いいたしました。

【評価方法】

学校関係者評価委員の方々に、令和7年6月9日にご参集いただき、令和6年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。令和6年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
- 評価者の意見・質問
- 質問・指摘の場合は本校の回答

【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の、教育課程編成、各種計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。

専門学校東京 CPA 会計学院熊本校 学校評価委員会

学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

【卒業生】【関連業界団体・企業】

杉山亜夢里税理士事務所 所長 杉山 亜夢里

株式会社高木商店 宮崎 康太

税理士法人近代経営 山元 佑太

◆学校関係者評価者が所属する企業・団体の詳細は公式サイトをご参照ください

杉山亜夢里税理士事務所 <https://amuri-taxaccountant.jp/>

株式会社高木商店 <https://www.kaneryo.co.jp/>

税理士法人近代経営 <https://kinkei-net.com/>

基準1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目【1-01～05】理念・目的・育成人材像

評価者意見・質疑

学校教育が高度な専門性を重視することは重要であるが、同時に、学生にはコミュニケーション能力および対人スキルの習得も求められるべきである。外部の人々との交流を積極的に取り入れ、ビジネスマナーや社会的適応力を効果的に学ぶ機会を得ることを推奨したい。

また、実務家による講話をカリキュラムに導入することも有益であると考えられる。これにより、学生は実際のビジネス現場における具体的な事例を理解し、業界に関する知識を深めることができる。

なお、税理士業では、特に雑談のスキルや他業界に対する幅広い理解がコミュニケーションの中心的な課題となることが多いので、学生自身の興味、関心、好奇心を養うことが極めて重要であると考えられる。

学校からの回答

ご指摘の通り、本校では、教育方針として高度な専門性を育むことを重視するとともに、学生の社会的スキルや実務対応力を兼ね備えた総合的な人材育成も当然、重要な事項だと認識している。ご提案頂いた、外部交流やビジネスマナー教育、実務家講話の導入は、まさにその理念と合致するものであり、可能な限りカリキュラムに取り入れていきたい。

また、学生が自らの興味・関心・好奇心を育みながら、様々な方面への学びを深める環境づくりも検討し、学生が現代社会で必要とされる多様なスキルをバランスよく習得できるよう支援していきたいと考えている。

基準2 学校運営

点検項目【2-06】運営方針

点検項目【2-07】事業計画

点検項目【2-08】運営組織

点検項目【2-10】意思決定システム

点検項目【2-12】情報公開

点検項目【2-13】情報システム

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【2-09】人事・給与制度

点検項目【2-11】コンプライアンス体制

評価者意見・質疑

職員の待遇並びにコンプライアンス体制の整備は、昨今の社会情勢からみて非常に重要な課題であり、時代の変化に即した規定の見直しは急務であると考えます。詳細な現状は分かりかねるものの、教育現場は往々にして、先生方の使命感・責任感に頼り切っている面も多い。そうならないように、先生方の待遇面も十分に配慮していただきたい。

学校からの回答

労働基準法や就業規則に沿った体制を整えているのは当然のこととして、現在、昨今の働き方改革や社会情勢等を鑑み、勤務時間や給与等に関する規則自体を再検討している。

基準3 教育活動

点検項目【3-14～19】目標の設定

点検項目【3-20～21】教育方法・評価等

点検項目【3-22】成績評価・単位認定等

点検項目【3-23～26】資格取得等の指導体制

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【3-27】教員研修等

評価者意見・質疑

教員の研修等は、教員の能力研鑽のために重要である。しかし、闇雲に受ければいいものではなく、「教員として必要な資質」を明確に定義したうえで、その目標から逆算する形で必要な研修プログラムを選択することが求められる。

例えば、新任の教職員向けの研修、スキルアップに関する研修、学生指導等に関する研修などを積極的に取り入れることで、今まで以上に講師一人ひとりの質を上げることが可能になると思われる。

学校からの回答

ご指摘のとおり、内部研修や外部研修を今以上に積極的に導入し、教員の専門スキルや社会的適応力、対人スキル等をより深く身につけることに尽力したい。これらの研修を計画的かつ積極的に取り入れることは、教員個々の資質向上のみならず、学校全体の教育水準の向上にも寄与するものと考えられる。

基準4 学修成果

点検項目【4-28～29】就職率・資格取得率等

点検項目【4-30】退学率の低減

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【4-31～32】卒業生の社会的評価

評価者意見・質疑

卒業生の状況を適切に把握することは、職業学校の教育成果を評価する上で極めて重要である。

そこで、卒業生の状況把握を促進する方法として、学年ごとの懇親会の開催を提案する。この懇親会は、卒業生との交流を深めるだけでなく、現状を直接的に確認する有効な場となり得る。本取り組みを通じて、学校と卒業生の関係を強化し、教育成果の改善につなげることが期待される。

学校からの回答

卒業生の状況把握は、本校の教育効果を検証し、向上させる上で極めて重要であると認識している。

懇親会の開催は、卒業生との継続的な関係を築くための実践的な方法であり、さらなる取り組みを模索する契機になるものと期待できるので、可能な限り随時開催していきたいと考えている。

基準5 学生支援

点検項目【5-33】就職等進路

点検項目【5-34】学生相談

点検項目【5-39】保護者との連携

点検項目【5-40～43】卒業生の支援、社会との連携等

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【5-35～38】学生生活

評価者意見・質疑

学生の健康管理を担う明確な組織体制が存在しない現状において、学生のストレスチェックの実施は極めて重要な課題であるといえる。特に、ストレスチェックは半年に1回程度の頻度で実施されるべきであり、これにより学生の健康状態を継続的に把握することが可能となる。

さらに、最近の法整備を受け、産業医などの専門家と連携し、職員を対象としたストレスチェックの導入を迅速に進める必要がある。この取り組みは、教職員の健康を保ちながら学校全体の教育環境を改善する一助となると考えられる。

学校からの回答

学生の健康状態は現状では常勤職員の判断に任せているため、医療関係者とも連携し、学生の心身についての状態把握に努めて参りたい。また、これにより、学生の学習環境も向上するものと期待できる。

職員に対するストレスチェックは現状では職員との面談等を通じて行っているが、法整備後は、法に則って迅速に実施する予定である。

基準6 教育環境

点検項目【6-44】施設・設備

評価者意見・質疑

施設の老朽化が進行すれば、それに伴う修繕コストの負担が増大することが予測される。そのため、費用面の負担を軽減する観点からも、修繕対応を分散させ、計画的に進めていくことが望ましいと考えられる。

学校からの回答

学生にとって居心地の良い学校生活を提供できるように、今後も継続して、施設・設備の改修等を適切に行う予定である。

点検項目【6-45】学外実習・インターンシップ等

点検項目【6-46】防災体制等

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準7 学生の募集と受け入れ

点検項目【7-47～49】学生募集活動

この項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【7-50】学生学納金

評価者意見・質疑

近年の物価上昇の影響を鑑みると、学生納付金の適切な改定が必要であると考えられる。CPAは、価格競争を主軸とする教育機関ではなく、その教育品質と専門性によって価値を提供しているため、価格改定が教育理念に反することはないと判断されるので、学生納付金の改定は、学校運営の持続可能性を確保するために不可欠であり、教育環境の維持と向上を目的としたものである。

学校からの回答

本校の学生納付金に関しては、長年にわたり妥当な金額で提供されてきたという自負があるが、ご指摘のとおり、時代環境に合わせて、改定を行う必要性を感じている。現在、学生納付金の適切な設定に向けた市場調査を実施しており、物価上昇を含む外部環境の変化を鑑み、学生にとって納得性の高い教育費用の提示を目指していきたい。

基準 8 財務

点検項目【8-51】財務基盤

点検項目【8-52】予算・収支計画

点検項目【8-53】監査

点検項目【8-54】財務情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準 9 法令等の遵守

点検項目【9-55】関係法令、設置基準等の遵守

点検項目【9-56】個人情報保護

点検項目【9-57】学校評価

点検項目【9-58】教育情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準10 社会貢献・地域貢献

点検項目【10-59】社会貢献・地域貢献

点検項目【10-59】公開講座・教育訓練

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【10-60】ボランティア活動

評価者意見・質疑

社会貢献活動は、学生の心身の成長を促進する上で重要な役割を果たすものである。特に、ボランティア活動への参加は、コミュニケーション能力の向上にも寄与することが期待されるため、学生には積極的な参加が推奨される。

さらに、就職を控えた2年生にとって、社会貢献活動への積極的な関与は特に重要である。これらの活動を通じて、学生は対人スキルを磨き、将来の職業生活における社会的適応力を養うことが可能となると考えられる。

学校からの回答

コロナ禍以前においては、学生がさまざまなボランティア活動に積極的に参加しており、社会貢献活動を通じた成長を支援してきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、一部活動の制限が余儀なくされ、その後の再開には十分な取り組みがなされていない現状である。

今後は、ボランティア活動の積極的な再開を推進し、学生が再び社会貢献活動を通じてコミュニケーション能力や社会的適応力を養う機会を提供することを目指していきたい。

基準 1 1 国際交流

点検項目【1 1 -62~65】国際交流

評価者意見・質疑

確かに、これから留学生の受け入れ等が必要な状況も出てくるかもしれないが、これまで受け入れ実績はなく、体制は整っていないことに加え、簿記の特性上、漢字や日本語力が求められる試験勉強を指導するためには、相当能力の高い人材以外は職員の負担が増すばかりだと思われる。入学段階から日本語能力に関する基準を設けるなど、受け入れは慎重に行った方がよい。

学校からの回答

既に留学生の受入実績がある東京校とも密に連携し、可能な限り最善を尽くして検討して参りたい。